

花から考える
環境、人、未来。

花に関わる私たち
だからこそできる、
優しい活動。
ちょっとした意識の
変化が何かを変える。

緑のキューブ「5×緑」で 都市に里山の季節感を！

あぜ道や原っぱに咲くスミレやタ
ンポポ、ハコベやアザミ。山に入れ
ば初夏はクワの実、秋にはアケビ
……。ほんの数十年前まで、都市で
も田舎でもよく見かけた、そんなた
くさんの草木たちが今、急激に姿を

消しつつあります。日本の野の花を
象徴する秋の七草も、そのいくつか
は絶滅危惧種に指定されています。
そんな昔から日本人のそばに寄り
添ってきた緑を取り戻し、都市に草
や木とともに暮らす楽しさを広める

ことを目的として誕生したのが、緑
化ワイヤーボックス「5×緑（ゴバ
イミドリ）」。上面だけでなく、4つ
の側面にも植物を植えることができ、
通常のプランター比べて5倍の緑を
楽しむことができるシステムです。
「5×緑の「里山ユニット」は、多
様な植物が共生する里山の植生にな
らい、在来の植物10〜25種類を組み
合わせて作られています。都会で暮
らしていると、どうしても季節感が
薄れてしましますが、多様な植物を
身近なものとすることで、季節ごと
の移ろいを楽しむ豊かさや、日本
らしい感性を取り戻すことができる
と思っています」

とは株式会社アネックス・5×緑
事業部の宮田生美さん。コンクリ
ートに覆われてヒートアイランド化が
進んだ都市の植物は単一的で、いま
や地方でも田畑の放棄や山の管理
の人手不足などで、かつての生命豊
かな環境を保つことが難しくなっ
ています。宮田さんたちは里山で森
づくりをする人々や放棄された田
畑の活用を考える人々と協力し、そ
こで育った草花を供給してもらって



- ①店舗前に置かれている里山ユニット。側面までグリーンに覆われているので、よりナチュラルな印象。
- ②都市緑化に利用されている例。都市のCO²削減やヒートアイランド対策につながり、里山の植生や環境保全にも役立つ。
- ③自然光と外気が入る場所なら、リビングなどでも里山植物を楽しめる。



います。
「都市で生活をする人々が緑を楽し
むことが、里山の植生を守ること
につながる。いろいろな植物を楽し
みながら、そんなことにも思いを馳
せていただければ」
植物は落葉樹中心の「里山タイ
プ」、常緑樹中心の「常緑タイプ」
ほか、日陰に強いタイプの植物を選
ぶことも可能。1つからでもオー
ダーできるので、お店に里山を再現
してみても？

5×緑「里山ユニット」に 使われている植物たち

里山の風景を写すことを基本に、在来の植物10〜25種類
をミックスして植栽。側面はテイカカズラを中心とし、シ
ラカシ、アラカシ、シロダモ、ヤマブキ、ウツギ、ガズミ、
ゲンショウコなどの草木が使われている。



ヤマツツジ



ホタルブクロ



テイカカズラ



ナデシコ

DATA.

株式会社アネックス
5×緑事業部

東京都渋谷区恵比寿3-33-3-A
☎03-3280-2041
<http://www.5baimidori.com/>